



学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。評価いただいた内容については学校全体で真摯に受け止め、学校発展のための努力を重ねてまいります。今後ともよろしくお願いたします。

群馬県立藤岡北高等学校 学校評価一覧表 ② (平成30年度版)

(様式2)

羅 針 盤		達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①地域との交流や地域への貢献を目的とした活動や行事等に生徒の80%以上が満足している。	A	A	A	・地域への貢献を目的とした活動の活性化や資格取得、各種コンクール入賞など様々な場面で生徒達が活躍している。充実した学校作りができています。	交流活動を進めるに当たり、目的をしっかりと意識させるとともに、内容の工夫や精選を図りたい。 各専門部の継続的な活動を実践するとともに、研究活動の意義を認識させる。
		②県農業クラブ連盟各種発表会・各種競技大会や各種のコンクールなどで4種目以上入賞する。	A	A	A		
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	①「授業が分かりやすい」と70%の生徒が答えている。	A	A	A	授業評価アンケートや定期試験等の結果を踏まえた授業改善に取り組み、生徒が分かりやすいと実感できる授業を実践した。 生徒が意欲的に資格取得にチャレンジするよう各教科やコース、進路指導部と多角的な指導に取り組んだが、生徒の意欲的な取組に結びつけることができなかった。	・生徒たちは意欲的に授業に参加している。基礎基本の習得はもちろん大切ではあるが、実践することで改めて基礎を学ぶことの大切さに気づくこともある。実践的な取組は生徒の学習意欲を喚起しているように感じる。 ・資格や朝学習はその有用性を継続的に教えていくことが大切である。
		②各種資格・検定を受検した生徒が80%以上である。	B	C	B		
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	①「朝学習の時間」等により基礎学力が向上したと実感する生徒が70%以上である。	A	A	A		
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	①職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に2回以上実施している。	A	A	A	職員会議において、生徒の情報交換を月一回、学年会議などでも情報交換が習慣化している。さらにきめ細やかな情報交換を目指せると感じる。 「相談だより」やWebページでスクールカウンセラーの活用について周知した。アンケートや面談等の結果を教育相談・カウンセリングに活かせるようにした。 重点課題として取り組んできたが、遅刻率・欠席率ともに前年よりも悪化した。進路を強く意識させることで、将来的な欠席・遅刻防止の意義を理解させるとともに、個々の遅刻・欠席の原因を把握して、学校全体で改善に努めたい。	・スクールカウンセラーの利用率が低いことが気になる。必要性を感じている生徒が少ないのかもしれないが、気軽に相談できる体制作りを努めてほしい。 ・遅刻率・欠席率の悪化については改善が必要である。生徒により状況は異なると思うが、遅刻・欠席の理由の多くは生活リズムの乱れだと思われる。家庭との連携強化や指導を工夫するなど改善に向け、地道な努力を続けて欲しい。
		②グループ学習やペア学習において、意欲的に取り組んでいると70%の生徒が答えている。	B	B	B		
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	①1日の平均遅刻率が0.8%以下である。 ②欠席率が2.3%以下である。	B	C	C		
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導	7 計画的な指導を行っていますか。	①学校から提供される進路情報や進路関係行事等が進路を考えるうえで役立っていると評価する生徒が70%以上である。	A	A	A	学年や外部機関との連携により、適性理解のための進路ガイダンスや進路学習を行い、進路指導の充実を図ることができた。そのため、進路に応じた個別の情報提供を行う機会が増加した。	進路行事の事前・事後指導等についてキャリア教育の視点からさらに検討を加えるとともに、適性検査等の結果の効果的な活用方法についての研修を実施するなど、進路指導の充実を図る。
		②LHR等で10時間以上進路学習を行っている。	A	A	A		
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	①自己の生き方と将来の職業の関連について考えている生徒が70%以上である。	B	B	B	PTA総会や学年保護者会の参加率向上に向けた方策について引き続き検討する。 学校は様々な形で情報発信に努めることができた。今後も内容の充実させるとともに、適切にPR活動を進めていくことが大切である。	学校評価アンケートをもとにPTA役員、学年委員と情報交換し、多くの保護者が参加できるよう工夫する。 今後もWebページ、連絡メール、マガジン等を積極的に活用し、継続的に情報発信を進める。
		②目標とした進路を実現できた生徒（3年生）が90%以上である。	-	A	A		
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	①PTA総会、学年保護者会等に参加している保護者が、60%以上である。	B	B	B	PTA総会や学年保護者会の参加率向上に向けた方策について引き続き検討する。 学校は様々な形で情報発信に努めることができた。今後も内容の充実させるとともに、適切にPR活動を進めていくことが大切である。	学校評価アンケートをもとにPTA役員、学年委員と情報交換し、多くの保護者が参加できるよう工夫する。 今後もWebページ、連絡メール、マガジン等を積極的に活用し、継続的に情報発信を進める。
		②学習活動や学校行事や地域貢献等の情報提供で、「学校の様子がよく分かる」と評価する保護者が80%以上である。	A	A	A		